

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画事後評価シート
藻岩山・山鼻・曙(路面電車沿線)地区

平成26年3月

北海道札幌市

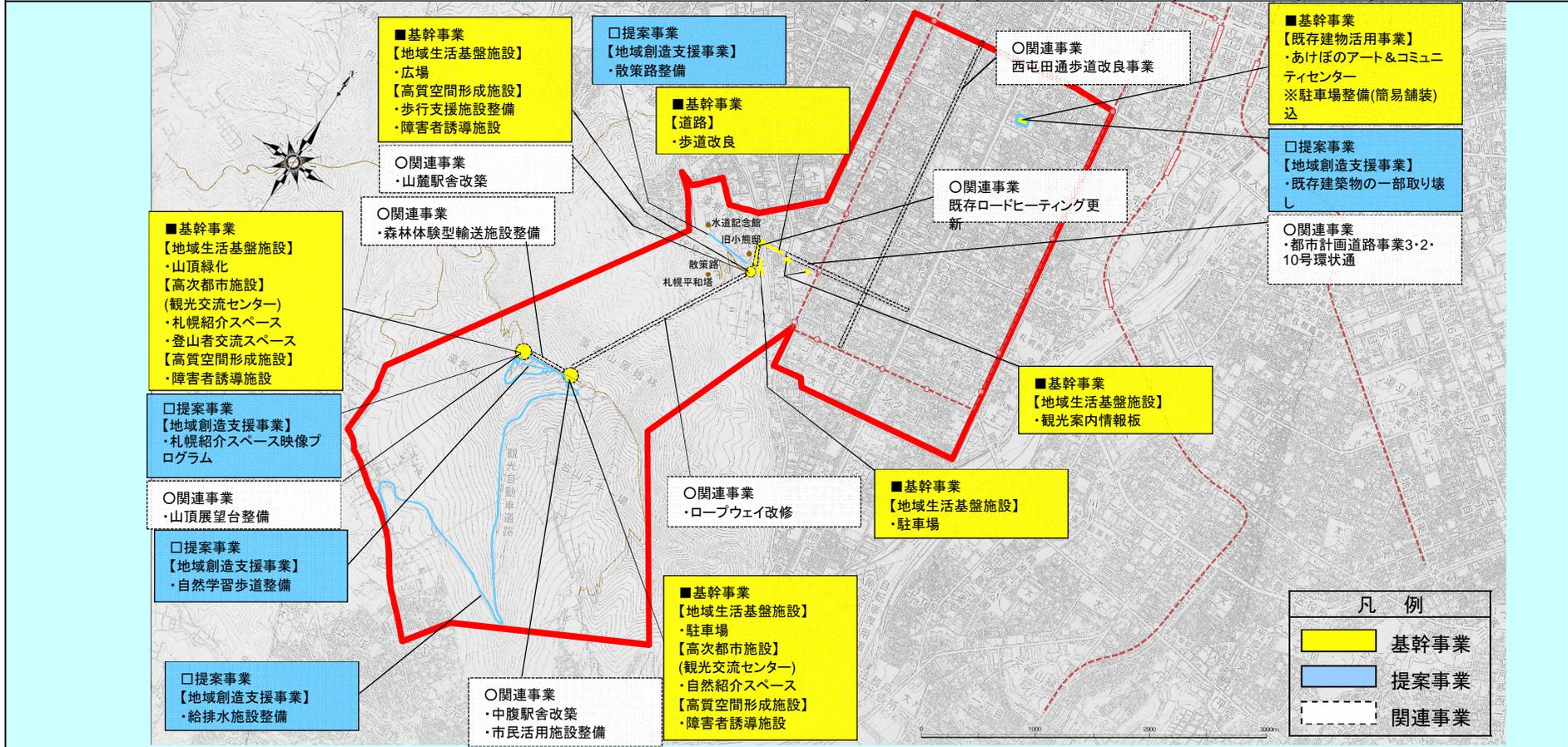
様式2-1 評価結果のまとめ

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|--------------------------------------|--|--------------------------|----------|---|------------------------|-----|-------|----------|----------|----------|--|---|
| 都道府県名 | 北海道 | | 市町村名 | 札幌市 | | 地区名 | 藻岩山・山鼻・曙(路面電車沿線)地区 | | | 面積 | 665.63ha | | | |
| 交付期間 | 平成20年度～平成24年度 | | 事後評価実施時期 | 平成25年度 | | 交付対象事業費 | 746百万円 | 国費率 | 0.400 | | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 事業名 道路(歩道改良)、地域生活基盤施設(藻岩山山麓駐車場、藻岩山中腹駐車場)、高次都市施設(観光交流センター)、既存建造物活用事業((仮称)あけぼのアート&コミュニティセンター) | | | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | 地域創造支援事業(給排水設備整備、自然学習歩道整備、既存建造物の一部取り壊し)、まちづくり活動推進事業(地域の歴史文化体験交流事業) | | | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | なし | | 削除/追加の理由 | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | | | | |
| | | 提案事業 | なし | | | | | | | | | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 | 地域生活基盤施設(山頂緑地) | | | 環境配慮のため山頂エリアでの自動車の進入を制限し、既存の駐車場を緑地とし、登山者などの憩いのエリアを創出する。 | | | | | | | | |
| | | | 地域生活基盤施設(観光案内情報板の設置) | | | 路面電車停留場からの誘導について改善を図り利用者の利便性向上を図る。 | | | | | | | | |
| | | | 地域生活基盤施設(山麓駅下広場整備) | | | 都心部とのアクセス手段を改善し、観光客・市民の区別なく、また子どもから高齢者・障害者に至るまでより多くの層の利用を促進する。 | | | | | | | | |
| | | | 高質空間形成施設(山麓歩行者支援施設整備) | | | ロープウェイ山麓駅と伏見東緑地、水道記念館とのアクセスを容易にすることで相互の連携をより高め、藻岩山山麓エリア全体の賑わいを創出、地域の活性化を図る。 | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | 高質空間形成施設(障害者誘導施設) | | | バリアフリー化を推進するため。 | | | | | | | | |
| | | | 地域創造支援事業(散策路整備) | | | 近隣施設である水道記念館との相互アクセスを容易にし、双方の集客力を高めエリア内の賑わいの創出を図る | | | | | | | | |
| 地域創造支援事業(札幌紹介施設映像プログラム) | | | 悪天候時の景観鑑賞の担保、札幌の歴史・文化の紹介を目的としている。 | | | | | | | | | | | |
| 交付期間の変更 | 当初変更 | 平成20年度～24年度 | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | — | | | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標の達成状況 | 指標 | 指標1 | 藻岩山利用者数 | 人/年 | 406,997 | H18 | 500,000 | H24 | — | 576,877 | ○ | あり なし | 藻岩山施設がリニューアルされたことにより魅力が高まり、ロープウェイ利用者数が大幅に増えた。 | — |
| | | 指標2 | ロープウェイ利用者数のうち路面電車利用者数 | 人/年 | 25,924 | H18 | 30,000 | H24 | — | 43,813 | ○ | あり なし | 藻岩山施設がリニューアルされてロープウェイ利用者数が大幅に増えたことに加えて、路面電車の停留場からのアクセスが向上したことにより、路面電車の利用者の割合が増えたことによる。 | — |
| | | 指標3 | ロープウェイシニア割引利用者 | 人/年 | 5,234 | H18 | 7,000 | H24 | — | 13,431 | ○ | あり なし | 藻岩山施設がリニューアルされてロープウェイ利用者数が大幅に増えたことに加えて、バリアフリー化やアクセス向上により、特に高齢者の利用が増えたことによる。 | — |
| | | 指標4 | 地域の歴史文化体験交流事業参加者数 | 人/年 | 390 | H18 | 500 | H24 | — | 527 | ○ | あり なし | 路面電車沿線にある埋蔵文化財センター、水道記念館、藻岩浄水場、博物館活動センター等と連携し、様々な催しを実施することで、多くの集客を得ることができた。 | — |
| | | 指標5 | (仮称)あけぼのアート&コミュニティセンターにおける地域交流イベント実施数 | 回/年 | 1 | H18 | 4 | H22 | — | 5 | ○ | あり なし | 施設再整備後、新たに募集した管理運営団体による様々な地域交流イベント企画により、地域コミュニティの活性化を果たすことができた。 | — |
| | | 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | その他の数値指標1 | | | | | | | | | | | |
| 4)定性的な効果発現状況 | 藻岩山山頂のスターホールで上映している札幌紹介映像プログラムについて、施設内に設置しているアンケート用紙の自由記入欄に映像プログラムが良かったという意見が散見される。天候不良により眺望、夜景が見られない時の代替の役割をある程度果たしていると考えている。 | | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | モニタリング | 実施内容 | | | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | | | | |
| | | | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | |
| | 住民参加プロセス | | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | |
| | | 持続的なまちづくり体制の構築 | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | |

様式2-2 地区の概要

藻岩山・山鼻・曙(路面電車沿線)地区(北海道札幌市) 都市再生整備計画事業 成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | | 従前値 | | 目標値 | | 評価値 | |
|---|---------------------------------------|---------|---------|-----|---------|-----|---------|-----|
| 大目標: 地域が潜在的に持つ魅力(文化、歴史、自然)を活かしたまちづくり 目標1: 市街地に隣接し札幌市民の「心の山」である藻岩山の魅力アップ及び藻岩山の持つ資源、機能を活用したまちづくりの推進 目標2: 文化、歴史の情報発信と新たな拠点施設の整備によるまちづくりの推進 | 藻岩山利用者数 | 単位: 人/年 | 406,997 | H18 | 500,000 | H24 | 576,877 | H24 |
| | ロープウェイ利用者数のうち路面電車利用者数 | 単位: 人/年 | 25,924 | H18 | 30,000 | H24 | 43,813 | H24 |
| | ロープウェイシニア割引利用者数 | 単位: 人/年 | 5,234 | H18 | 7,000 | H24 | 13,431 | H24 |
| | 地域の歴史文化体験交流事業参加者数 | 単位: 人/年 | 390 | H18 | 500 | H24 | 527 | H24 |
| | (仮称)あけぼのアート&コミュニティセンターにおける地域交流イベント実施数 | 単位: 回/年 | 1 | H18 | 4 | H22 | 5 | H22 |



| | |
|---------------------|---|
| まちの課題の変化 | 藻岩山施設の老朽化、バリアフリーが未対応だった点については、リニューアルにより魅力的な施設へと生まれ変わり、バリアフリー対応になったことで、もいわ山ロープウェイの利用、特に高齢者や障害者の利用が大幅に増えた。にぎわいの創出、地域の活性化については、藻岩山施設のリニューアルにより藻岩山の来客数が増えた。また、様々な機会において、藻岩山と周辺施設との間で、バックヤードツアーやゆるキャラの派遣、イベント時の連携等の協力をを行い、藻岩山と商店においても、イベント時などで連携を行っている。さらに、藻岩山では自然を生かしたイベントが、あけぼのアート&コミュニティセンターでは地域交流イベントが開催されている。 |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | 藻岩山施設の魅力やバリアフリー化についてPRを行い、利用増進を図る。藻岩山を活用する人の流れや都心部からの人の移動を、路面電車の回遊性を利用して地区内の周辺施設に波及させるため、藻岩山と周辺施設、商店、地域住民との連携を行い、また、藻岩山の自然を生かしたイベント、あけぼのアート&コミュニティセンターでの地域交流イベントを実施することで、にぎわいを創出し、コミュニティの活性化を図る。 |